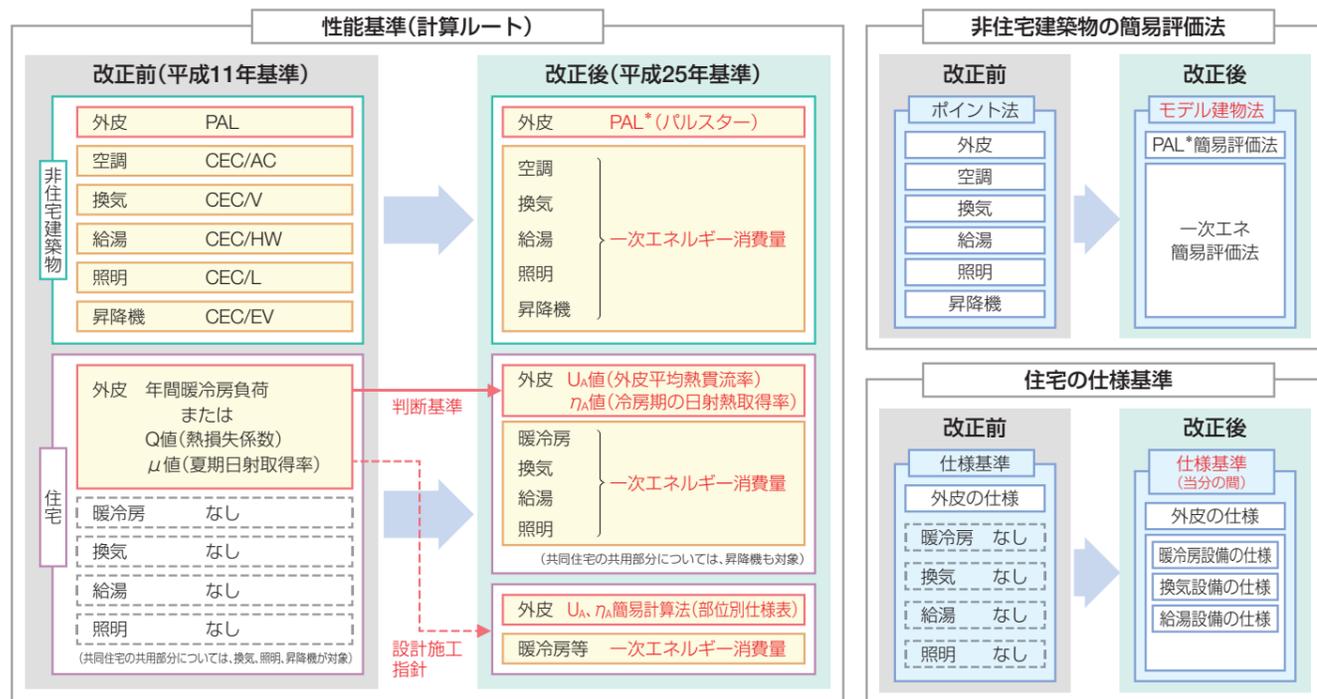


■省エネ基準改正の全体像

今回の改正では、以下3つの点がポイントになっています。ご確認ください。

- ①外皮の断熱性能および設備の性能を建物全体で総合的に評価する一次エネルギー消費量が導入され、**照明設備単独での評価ができなくなりました。**
- ②これまで評価の対象外だった住宅の照明設備が評価の対象となっています(平成27年3月31日まで経過措置期間)。
- ③簡易評価法も見直しされています(非住宅建築物の主要室入力法とモデル建物法)。



国土交通省「省エネ基準の改正概要」より抜粋

■省エネ基準改正の概要について

基準改正の概要を弊社ホームページにてご紹介しておりますので、ご参照ください。

<http://www.tlt.co.jp/tlt/information/legals.htm#sec5>



■「改正省エネ基準」関連情報サイトのご紹介

国土交通省
関係法令(法律/政令/省令/告示)、届出様式等
http://www.mlit.go.jp/jutakuentiku/build/jutakuentiku_house_tk4_000005.html

(独)建築研究所
一次エネルギー消費量算定プログラム、モデル建物法評価支援ツール、算定プログラムの解説、基準の解説及び補足資料
<http://www.kenken.go.jp/becc/index.html>

(一社)日本サステナブル建築協会(JSBC)
講習会テスト、基準の解説及び補足資料、一次エネルギー消費算定プログラム、モデル建物法評価支援ツール等
<http://lowenergyjsbc.or.jp/top/>

(一財)建築環境・省エネルギー機構(IBECE)
技術講習会情報(設計者向け)
<http://www.ibec.co.jp>

お問い合わせ先

(一社)日本サステナブル建築協会 省エネ対策サポートセンター

下記の項目等に関する質問を受け付けておられます。

- 1.住宅及び建築物に関する省エネルギー基準・計算支援プログラム
- 2.低炭素建築物認定基準・計算支援プログラム
- 3.省エネ措置届出

■受付時間:平日9:30~12:00、13:00~17:30

メール : q30ene@jsbc.or.jp

FAX : 03-3222-6610 TEL : 0120-882-177

※電話番号はおかけ間違いのないようご注意ください。

※電話は込み合って通じないことがありますので、なるべくメール、FAXをご利用ください。

TOSHIBA

Leading Innovation >>>

改正省エネ基準が完全施行になりました。

従来のCEC/L、ポイント法から、新しい評価方法に変わります。



平成25年4月1日に改正省エネルギー基準が施行され、建築確認申請時の省エネ措置の評価方法が新しくなりました。施行後1年間は経過措置期間として従来のCEC/L、ポイント法でも届出ができましたが、平成26年4月1日からは完全施行となり(住宅は平成27年4月1日)、新評価方法である一次エネルギー消費量を指標とした建物全体での評価による届出に変わりました。以後はCEC/L、ポイント法での届出ができません(増築および設備機器の設置・改修などは除く)。計算の対象となるのは、これまでどおり300㎡以上の非住宅建築物と住宅です。

改正にともない、届出書類の作成方法が変わりました。

今回の改正で、一次エネルギー消費量を指標とした建物全体での評価に変わりました。

	改正前(平成11年基準)	改正後(平成25年基準)
評価単位	照明設備単独で評価	設備全体で評価 (空調+換気+給湯+照明+昇降機)
指標	CEC/L	一次エネルギー消費量 ●標準入力法 ●主要室入力法
5,000㎡以下の簡易評価法	●ポイント法 ●簡易なポイント法	モデル建物法

- POINT**
- 計算はWEB上の算定用プログラムで行います
 - 計算に必要な情報は専用の入力シートに入力します
 - 照明だけでなく、設備全体に共通する情報が必要です

改正後は**照明設備単独での評価ができなくなりました。**

そこで東芝ライテックでは、届出書類の作成を支援する『**入力支援プログラム**』をご用意しました。

書類作成支援ツールのご提供を通し、**入力作業の簡略化をサポート**します。

東芝ライテック株式会社

TOSHIBA
東芝ライテック株式会社
施設・屋外照明部 施設照明担当
〒212-8585 神奈川県川崎市幸区堀川町72番地34
TEL 044-331-7556
<http://www.tlt.co.jp/>

このカタログの内容は平成26年5月現在のものです。

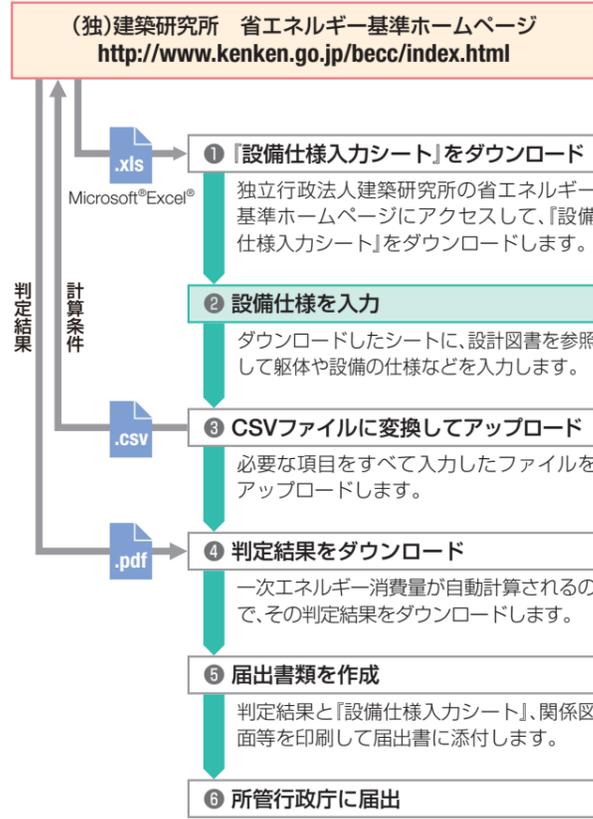


平成26年4月1日から届出書類の作成方法が変わります。

改正省エネルギー基準の完全施行にともない、一次エネルギー消費量による評価が導入され、建築確認申請時に必要な省エネ措置の届出書類の作成方法が変わりました。

届出書類の作成から提出までの流れと、一次エネルギー消費量の算定方法について

一次エネルギー消費量は、(独)建築研究所のホームページに公開されている算定用プログラムに計算条件をアップロードすると、自動計算されます。



『設備仕様入力シート』の構成について

『設備仕様入力シート』は全部で18のシートから構成されています。この18のシートは入力情報の性格別に、共通条件を入力する2シートと各設備の仕様を入力する16シートに分けることができます。

『設備仕様入力シート』の内訳

○共通条件を入力する2シート

この2つのシートには、地域区分や室名、室用途など、建物全体に関わる基本的な共通情報を入力

- 基本情報入力シート
- 室仕様入力シート

○設備仕様を入力する16シート

残りの16シートには、それぞれの設備で求められる情報を入力

- 空調ゾーン入力シート
- 外壁構成入力シート
- 窓仕様入力シート
- 外皮仕様入力シート
- 熱源入力シート
- 二次ポンプ入力シート
- 空調機入力シート
- 換気対象室入力シート
- 給排気送風機入力シート
- 換気代替空調機入力シート
- 照明入力シート**
- 給湯対象室入力シート
- 給湯機器入力シート
- 昇降機入力シート
- 太陽光発電システム入力シート
- コージェネレーションシステム入力シート

照明入力シートは当社の「入力支援プログラム」がサポートします。

『設備仕様入力シート』の入力手順

Step 1 共通条件の入力

最初に共通条件の2シートを入力します。特に[室仕様入力シート]は設備全体の計算に共通で用いられる重要な情報となります。

『室仕様入力シート』の入力例

階	室名	建物用途	室用途	室面積	階高	天井高	空調システム	換気システム	照明システム	給湯システム	備考
5F	5F事務室-01	事務所等	事務室	323.90	4.0	2.6	■	■	■	■	北面インテリア空調系統
5F	5F事務室-02	事務所等	事務室	213.70	4.0	2.6	■	■	■	■	南面インテリア空調系統
5F	5F事務室-03	事務所等	事務室	48.10	4.0	2.6	■	■	■	■	北面ペリメータ空調系統
5F	5F事務室-04	事務所等	事務室	37.30	4.0	2.6	■	■	■	■	南面ペリメータ空調系統
5F	5Fホール	事務所等	廊下	37.40	4.0	2.4	■	■	■	■	
5F	5F廊下	事務所等	廊下	88.60	4.0	2.4	■	■	■	■	
5F	階段室N	事務所等	廊下	22.40	4.0	4.0	■	■	■	■	
5F	階段ロビー	事務所等	廊下	11.20	4.0	2.4	■	■	■	■	
5F	DD1	事務所等	機械室	9.60	4.0	4.0	■	■	■	■	東隣ロビー-送風機DG
5F	DD2	事務所等	機械室	1.90	4.0	4.0	■	■	■	■	南隣ロビー-送風機DG

①室名、室用途、床面積などの室情報を入力*

②設備ごとに計算対象となる室を指定

『照明入力シート』の入力例

階	室名	建物用途	室用途	室面積	階高	天井高	照明器具型式	器具名	定格消費電力	台数	在室検知制御	タイムスケジューリング制御	初期照度補正制御	昼光変動調整制御	自動点滅制御	照度調整制御
5F	5F事務室-01	事務所等	事務室	323.90	4.0	2.6	221	15.4	FFS20L5-P452	54	06	■	■	■	■	■
5F	5F事務室-02	事務所等	事務室	213.70	4.0	2.6	14.9	15.4	FFS20L5-P452	54	06	■	■	■	■	■
5F	5F事務室-03	事務所等	事務室	48.10	4.0	2.6	0.8	15.4	FFS20L5-P451	47	12	■	■	■	■	■
5F	5F事務室-04	事務所等	事務室	37.30	4.0	2.6	0.7	15.4	FFS20L5-P451	47	08	■	■	■	■	■

③[室仕様入力シート]から、共通条件である室情報を転記

④室指数、照明器具仕様、照明制御による補正の有無などの情報をそれぞれ入力

当社の「入力支援プログラム」がサポートします
([照明入力シート]のみ)

東芝ライテックの『入力支援プログラム』を使うと[照明入力シート]の入力が簡単にできます!

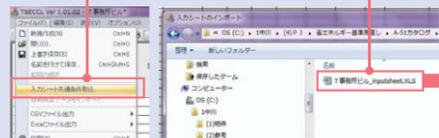
『入力支援プログラム』を使うと、[室仕様入力シート]から室情報を一発取り込みできます。しかも、照明器具の情報を自動入力できるなど、入力の手間を大幅に減らせます。

『入力支援プログラム』は、弊社ホームページよりダウンロードできます。
《詳細は6月頃の公開予定!》

入力支援 1 室情報入力の手間を軽減 共通条件である室情報を自動入力

事前に[室仕様入力シート]へ室情報の入力を済ませた『設備仕様入力シート』をインポートするだけで照明の計算対象室を自動で判別して室情報を一発取り込みします。

- ①メニューから[入力シート共通条件取込]を選び
- ②『設備仕様入力シート』のファイルを指定します。



指定したファイルの中から照明の計算対象室の室情報だけが取り込まれます。

室情報を取り込んだ[照明入力シート]の入力画面

階	室名	建物用途	室用途	室指数			
				① 室面積	② 階高	③ 天井高	④ 室の開口
B1F	中央監視室	事務所等	中央監視室	85.00	5.5	4.8	
B1F	清掃員控室	事務所等	更衣室又は倉庫	22.40	5.5	2.6	

入力支援 2 照明器具の情報を自動入力 器具形名による検索で消費電力などを自動入力、制御係数も選ぶだけ!

消費電力などの情報は自動入力されます。資料からの数値読み取り 作業が不要です。

①器具形名を入力して検索すると

②消費電力が自動入力されます。

制御係数の入力はプルダウンメニューから選ぶだけの簡単操作です。

記号	照明器具型式	器具形名	光源形名	定格消費電力	台数	在室検知制御	タイムスケジューリング制御
	スクエア埋込開放	LEDT-176081NK-LD9		58.0		無	無

光源形名	定格消費電力	台数	在室検知制御	タイムスケジューリング制御	初期照度補正制御	昼光変動調整制御	自動点滅制御	照度調整制御
無	58.0		無	無	無	無	無	無
■	0.90		■	■	■	■	■	■
■	0.80		■	■	■	■	■	■
■	0.75		■	■	■	■	■	■

入力支援 3 簡易評価方法にも対応 主要室入力法、モデル建物法に対応

主要室入力法に対応しています。モデル建物法の『集計表』が作成できます。

モデル建物法の『集計表』の入力画面

室用途	室名称	圧縮率	記号	器具形名	光源形名	定格消費電力	台数	器具消費電力	器具消費電力	器具消費電力	器具消費電力	器具消費電力	器具消費電力	器具消費電力	器具消費電力	器具消費電力
事務室	5F事務室	454.00	A322	LEDN-45701NK-LD9	LEM-07042N-01	58	01	4,779.00								
事務室	5F事務室	535.00	A322	LEDN-45701NK-LD9	LEM-07042N-01	58	03	8,487.00								
事務室	5F事務室	535.00	A322	LEDN-45701NK-LD9	LEM-07042N-01	58	04	120.00								
事務室	5F事務室	535.00	A322	LEDN-45701NK-LD9	LEM-07042N-01	58	05	8,487.00								
事務室	5F事務室	535.00	A322	LEDN-45701NK-LD9	LEM-07042N-01	58	06	120.00								
合計		1,124.00						15,993.00	18.8	(L4)	(L5)	(L6)	(L7)	(L8)	(L9)	

もっと便利に「入力支援」東芝ライテック独自の『照明器具一覧表』作成機能!

[照明入力シート]の入力を始める前に、裏画面で「照明器具一覧表」を作成しておけば、[照明入力シート]の入力画面では記号を入力するだけで照明器具型式、器具形名、定格消費電力などの器具情報が自動入力されるので、入力作業がさらにスピードアップできます。

『照明器具一覧表』入力画面

記号	照明器具型式	器具形名	光源形名	器具消費電力	台数	器具消費電力
A322	AQ2-2埋込開放	LEDN-45701NK-LD9		2000	58.0	
B20	スクエア埋込開放	LEDN-176081NK-LD9		2000	17.0	
C452	AQ2-2埋込開放	LEDN-45701NK-LD9		2000	58.0	
D451	AQ2-2埋込開放	LEDN-45701NK-LD9		2000	58.0	
D453	AQ2-2埋込開放	LEDN-45701NK-LD9		2000	44.0	
E323	AQ2-2埋込開放	LEDN-45701NK-LD9		2000	58.0	

*本ソフトウェアの外観や仕様は、改善のため、予告なく変更する場合があります。